

ひとまちこころ



宮城県父子の会
代表 村上 吉宣

父子家庭への支援の拡充を目指し

父子家庭の最大の問題は「孤立」です。職場・地域コミュニティ・子育て・行政支援・社会において父子家庭は、次のように「孤立」してしまいます。

【会社】父子家庭などのひとり親家庭になると突然、定時帰宅、欠勤、早退の日々となり「使えない人」と判断され、アルバイトや契約社員へと降格。職場に居づらくなり、転職すれば収入も激減します。

【地域コミュニティ】子どもは放っておいても育つと言われます。その背景には親が地域コミュニティで役割をはたしているから、放っておける環境がありますが、父親たちはそのことを知りません。

【育児】子育ての情報共有や悩み相談などの場合は、母親たちの連帯の中に存在することから、父親には敷居が高く、「孤立」し一人で抱え込む傾向があります。

【社会的】父子家庭になると「仕事」と「子育て」のどちらかを選ばなくてはならない苦渋の選択を迫られます。「仕事」を選択した場合、帰りが遅くなり、子どもが夜遅くまで留守番になります。そうした子育て状態の理解を地域から得られないため、ネグレクトであると誤解され、更に追

崖っぷちシングルパパ、
ただいま奮闘中!!

い込まれる事例もあります。

「子育て」を選択すると、子どものタイムスケジュールに就労時間が左右される、ひとり親の特性上、早出、残業、出張、転勤はできないため、収入は激減することになります。

仕事も子育ても家事も、夫婦で48時間の時間を使ってこなしていた作業をひとり親は24時間でこなす必要に迫られます。父子家庭は究極のワークライフバランスが求められ、更に緊急的に働き方の見直しを迫られると言えます。そして「債務」を負ってひとり親になるという特徴があるため、年取が高くても支払いが多い、隠れ貧困父子家庭が存在するのも父親のひとり親の問題点の一つです。

僕たちは支援の拡充を求める政策提言をするとともに、このような「父子家庭の抱える現状と課題」を講演会などで周知する活動を行っています。

問い合わせ先
TEL 080(3197)0692 ✉ hibipa0907@yahoo.co.jp

県内授産製品のご紹介

NPO法人みやぎセल्प協働受注センターでは、働く障害者の方々に応援しています! URL <http://www.miyagi-selp.org>

国産大豆ミヤギシロメを100%使用し、お豆腐や揚げ物、ドーナツなどを製造しています。特に「寄せ豆腐」は、口いっぱいに広がる大豆の甘みとまろやかな舌触りが、そのまま食べてもおいしい!と評判で、和食料理店でも大好評です。「食べる豆乳」は、無調整なのでとても濃厚で、そのまま飲んでもよし、お料理に入れてもよしと、いろいろと活用できます。その他、豆乳とおからを使ったドーナツや、お豆腐を使ったケーキも製造しています。



▲国産大豆ミヤギシロメ100%使用のすまいる豆腐

くりえいと柴田では、主に、レトルト事業、菓子事業（パン製造）を行っています。おすすめのレトルト製品は、はらから福祉会の蔵王すずしろで製造した、ミヤギシロメ大豆使用の「ゆば」と、ミヤギシロメ大豆を具材に盛り込み、トマトソースの効いた「ゆばトマトカレー（350円）」、厚く切った牛タンをじっくり煮込んだ仙台名産の牛タンをカレーに仕上げた「タンとめしあがれ（500円）」です。是非一度、ご賞味下さい!



▲ゆば入りトマトカレー & タンとめしあがれ

特定非営利活動法人コスモスクラブ すまいる作業所
〒981-8001 仙台市泉区南光台東3丁目11-35
TEL 022(773)8610
FAX 022(773)8610
✉ sumairu_sa@ybb.ne.jp

社会福祉法人はらから福祉会 くりえいと柴田
〒989-1763 柴田郡柴田町大字船迫土平92
TEL 0224(58)7773
FAX 0224(58)7774
✉ create@harakara.jp
URL <http://www.harakara.jp>

